

プレスリリース

2019年8月30日
国境なき医師団 (MSF)

イエメン：アデンで激しい戦闘 数時間で 51 人の死傷者が MSF 病院に運ばれる

イエメン南部の主要都市アデンで 2019 年 8 月 28 日（現地時間）、ハディ大統領を支持する軍事勢力と、これに対抗する南部独立派の間で激しい戦闘が起きた。国境なき医師団（MSF）の病院は、戦闘から数時間で 51 人の死傷者を受け入れたが、うち 10 人は到着時すでに死亡していた。

いつまた戦闘が起きてもおかしくない

イエメンで MSF のオペレーション・マネジャーを務めるキャロリーヌ・セガンは、「現場は完全な混乱状態に陥っています。市内では戦闘が 1 日中続いていました。朝になって事態はやや落ち着いたものの、いつまた戦闘が起きてもおかしくない状況です」と話す。

現在、MSF の病院には 80 人が入院している。病院の近隣は、ハディ大統領を支持する国際有志連合軍による空爆の標的になった。

セガンは続ける。「負傷者が一度に大勢運び込まれるのは、ここ 3 週間で 3 度目です。現時点では、どの勢力がアデン市内のどの地域を支配しているのか、確かなことはわかりません。空港とその周辺は閉鎖され、戦闘に巻き込まれる恐れもあります。MSF は、さらに多くの死傷者が運ばれてくる事態に備え待機しています。また病院への攻撃を避けるため、各武装勢力と有志連合軍に対し、MSF の存在と病院の位置情報を改めて伝えました」

この戦争が 2015 年 3 月に始まって以来、MSF の医療施設は 6 回攻撃を受け、うち 5 回は有志連合軍による空爆であった。

アデンは戦地に

アデンでの戦闘は、主にハディ大統領支持の軍事勢力と、南部独立を目指す南部暫定評議会（STC）の間で起きている。一方で、反政府組織「アンサール・アッラー」とその対抗勢力がここ数週間、南部の複数県の支配権を争っている。8 月 9 日から 12 日の間にアデンは戦地と化し、MSF 病院では、大勢の負傷者が途切れることなく受け入れている。


武力衝突はアビヤンとシャブワ県でも起き、MSF は、医薬品・消耗品・機器を現地医療機関に寄贈して支援している。

以上

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平

TEL：03-5286-6141 FAX：03-5286-6124 E-mail: press@tokyo.msf.org

 メディア向けツイッターアカウント：@MSFJ_Press